

Weplat スキャンサービス消費税改正対応および機能アップの予定 (Ver.3.00/3.01)

Weplat スキャンサービスの消費税改正対応および機能アップの予定についてお知らせします。
下記にまとめましたので、ご確認ください。
なお、当内容は変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

1. リリース時期

本対応は2回に分けてリリースします。

リリース予定日と対応機能、対応する財務 R4 のバージョンは下の表をご覧ください。

	リリース予定日	バージョン	対応する機能
1回目	2019年9月30日 (月) 午前 9:00	■ スキャンサービス Ver.3.00 ■ 対応する財務R4 Ver.19.20以降	■ 消費税改正対応 ・消費税10%および軽減税率8%の自動仕訳対応 ■ 機能アップと機能改善 ・部門別の自動仕訳に対応 ・通帳に関する改善 ・Webページの設定メニューの改善
2回目	2019年10月15日 (火) 午前 9:00	■ スキャンサービス Ver.3.01 ■ 対応する財務R4 Ver.19.30以降	■ 機能アップ ・現金出納帳、クレジットカードの自動仕訳対応

※Weplat スキャンサービスのリリースは、弊社サーバーに対して行いますので、スキャンサービスのお客様側でのプログラムの更新はありません。

※財務 R4 は対応するバージョンをインストールしてください。財務 R4 Ver.19.30 のダウンロード開始はスキャンサービスの2回目のリリースと同日を予定しています。

2. 消費税 10%および軽減税率 8%の自動仕訳対応

消費税率 10%と軽減税率 8%の「領収証」、「レシート」、「請求書(支払)」の自動仕訳に対応します。

2019年10月1日以降の証憑には、10%、軽減税率 8%の税率ごとに合計した2つの合計金額が記載されるようになります。

この証憑を Weplat スキャンサービスで自動仕訳依頼すると、10%と軽減税率 8%の2つの仕訳が作成され財務 R4 に取り込まれます。

10%と軽減税率 8%の2つの仕訳を作成しますが、記帳代行チケットの消費は1チケットです。

下の請求書を自動仕訳依頼した場合、10%の合計金額①と、軽減税率 8%の合計金額②について仕訳を作成します。

請求書		
株式会社〇〇御中		XX年11月30日
11月分	131,200円(税込)	
日付	品名	金額
11月1日	お茶 ※	5,400円
11月1日	お弁当 ※	21,600円
11月2日	キッチンペーパー	2,200円
...
合計		131,200円
①	10%対象	88,000円
②	8%対象	43,200円

※は軽減税率対象品目

△△商事(株)

●取込仕訳チェックへの取り込み

上の請求書を自動仕訳依頼し、財務 R4 の取込仕訳チェックへの取り込むと、下のように 10%の仕訳①と、軽減税率 8%の仕訳②の 2つの仕訳を取り込みます。

軽減税率 8%の仕訳②の自動仕訳辞書のキーワード（摘要のもとになる語句）の後ろに「※」が自動的に付加されます。

	日付	借方	消費税	貸方	金額	摘要
①	11/30	533 会議費	32 仕込 10%	997 不明勘定	88,000円	△△商事(株)
②	11/30	533 会議費	32 仕込 軽減8%	997 不明勘定	43,200円	△△商事(株) ※

軽減税率8%の仕訳を取り込んだ場合、摘要のもとになる自動仕訳辞書のキーワードの後ろに「※」を付加します。

「※」が付き、10%と軽減税率 8%の自動仕訳辞書が別々に登録されるため、別々に辞書学習できます。

※10%と軽減税率 8%の仕訳は、それぞれ単一仕訳として取り込まれます。複合仕訳では取り込まれません。

※自動仕訳辞書の設定項目に税率はありませんが、スキャンサービスで軽減税率 8%の合計金額の記載のある証憑を自動仕訳依頼した場合は、財務 R4 に軽減税率 8%が設定されて取り込まれます。

※軽減税率 8%の合計金額が記載されていない証憑は、証憑の日付に応じて、2019年9月30以前は8%、2019年10月1日以降は10%の税率で取り込まれます。

3. 部門別の自動仕訳に対応(Document Capture Pro プラグインのバージョンアップ)

Document Capture Pro プラグインをバージョンアップし、部門別の自動仕訳と手動仕訳に対応します。

財務 R4 の[連動]-[外部データ作成]により出力した部門情報ファイルを、Document Capture Pro プラグインで取り込み、部門指定をした自動仕訳依頼、および手動仕訳ができるようになります。

部門情報ファイルは、スキャンサービスに登録されている顧問先毎に指定できます。

財務 R4 へ仕訳を取り込むと、指定した部門が設定されて取り込まれます。

※同時にリリースする Weplat スキャンサービス Document Capture Pro プラグイン Ver.2.00 のインストールが必要です。

② 取り込んだ部門を選択できます。

① 財務R4の[連動]-[外部データ作成]により出力した部門情報ファイルを取り込みます。顧問先毎の情報として登録されます。

4. 通帳に関する改善

4-1. 顧問先と通帳の紐付けの改善

顧問先と通帳の紐付けでは、「対応通帳一覧」の中に一致する銀行名と通帳行数がない場合にはエプソンで一覧への登録作業をしていましたが、一覧にない場合にはお客様自身で登録することができるようになります。

従来は選択した銀行通帳のフォーマットを使って自動仕訳していましたが、銀行通帳毎のフォーマットを使わずに自動仕訳が可能になりました。

4-2. 通帳の自動仕訳の改善

通帳の自動仕訳依頼をした場合、今までは通帳画像の一部に仕訳化できない箇所があると全てエラーになっていましたが、通帳画像内の正常な行については仕訳化できるようになります。画像内の一部の行が仕訳化できない場合には、エラー内容が財務 R4 の仕訳の摘要に入ります。

記帳代行チケットの消費は、正常に仕訳化できた行と、エラー行に対しても消費します。

もし、通帳画像が全て仕訳化できずエラーになった場合には、記帳代行チケットは消費せず、全行がエラーとなったことを示す 1 仕訳が財務 R4 に取り込まれます。

5. Web ページの設定メニューの改善

スキャンサービスの Web ページの設定メニューを下のように改善します。

【従来】	【Ver.3.00】	改善点
	各種設定	アイコンの横に「各種設定」の文字を追加します。
顧問先登録 顧問先変更 担当者登録・削除 担当者と顧問先の紐付け 顧問先と通帳の紐付け 会計事務所情報 ログアウト	顧問先登録 顧問先変更・削除 担当者登録・削除 担当者と顧問先の紐付け 顧問先 証憑設定 会計事務所情報 ログアウト	一度登録した顧問先を削除できるようにします。 顧問先の変更画面に「削除」ボタンを追加
顧問先と通帳の紐付け	顧問先 証憑設定	「通帳と顧問先の紐付け」から「顧問先 証憑設定」に変更します。従来の顧問先と通帳の設定もこのメニューから行います。
会計事務所情報	会計事務所情報	設定されていない箇所があるとメニューが赤字で表示します。赤字になるメニューは「顧問先登録」と「会計事務所情報」の2つです。

一度登録した顧問先の削除ができませんでしたが、顧問先を削除できるようにします。

・通帳の他に、クレジットカード明細や現金出納帳の自動仕訳にも対応して行くため、「通帳と顧問先の紐付け」メニューを「顧問先 証憑設定」に変更します。

6. 現金出納帳、クレジットカードの自動仕訳対応(2回目のリリースで対応)

現金出納帳、クレジットカードの自動仕訳に対応します。

対応には、同日ダウンロード公開する財務 R4 Ver.19.30 へのバージョンアップが必要です。

現金出納帳の推奨フォーマットをスキャンサービスの Web ページから Excel 形式のファイルでダウンロードできるようします。

以上、よろしくお願いいたします。